

RNNReligious, NGO, Network
On Humanitarian Support
Since 1996世界各地で人道援助に取り組む
宗教NGO、宗教者、信仰者を結ぶ
人道援助宗教NGOネットワーク

RNNニュースレター

そよがぜ

爽やかな風を世界の人々に

(発行所)

国際貢献・ヒア岡山構想を推進する会内

人道援助宗教委員会

委員長：西村美智雄

広報担当：永宗幸信

(事務局)

〒700-0026 岡山市奈遷町3-1-28

TEL/FAX:086-251-6218

アドレス <http://www.mn-center.org>

RNN事務局長：黒住宗道

21世紀の宗教NGO

RNN委員長
西村 美智雄

RNN人道援助宗教NGOネットワークは、1996年、中国雲南省で発生した大地震に際して、岡山県内の宗教者が宗派を超えて救済活動を行ったことを契機に生まれました。それは、教義を超え、政治思想や体制など一切の社会的規範等をひとまず置いて、人間の助かりという、根元的な宗教性をもって結ばれたものでした。それまで、すでに多くの宗教によってそれぞれに多様な社会貢献活動が進められています。

しかしながら、信仰する者の原初的な営みとしての祈りはそれ自体に深い意味はもちつつも、ともすると動きのない非生産的なことになりかねません。また、今日の社会の中での宗教の一般的な理解や評価も決して樂觀できるものではないように思います。

戦後半世紀経って、ようやく東西冷戦構造を乗り越えた私たち人間は、なおも国家間あるいは民族間の紛争を経験しながら、これまでも目を向けられることの少なかった、人間をはじめ、地球規模の根本的な生存の問題、すなわち南北問題に当面することになりました。それは豊かさや貧しさという、極めて人間的な欲望というものの負の遺産であるといわねばならないと



私たちは、改めて人間と人間、人間と万物の関係、一人ひとりの生き方や人間関係という視点と共に、世界的、人類的なものの見方をより研磨していくことなくしては、新しい人類の世紀をつくっていくことはできないと思います。そしてこのことを提示できるのは宗教以外にはないとも考えます。

RNNはいわゆる宗教NGOといわれる組織です。宗教NGOとは、その設立の動機が直接的宗教的ないしは信仰的信念にあり、支持母体が宗教団体であるということによります。しかし、

であるからといって活動の目的や運営の仕方は、他のいかなる動機によって生まれたNGOとも同質・同様に本来自己の利益獲得を目的とするものではなく、あくまで地球市民活動として一般に開かれたものでありたいと考えています。

世界の人々が共に手を携え、助け合う社会が求められている時代に、自らの宗教を開放し、あらゆる価値と対話しながら歩き続けるのが、21世紀の宗教NGOに与えられた使命であると思います。

祝そよがぜ
創刊

うもの負の遺産であるといわねばならないと

NPO特定非営利活動法人
金光教平和活動センター 専務理事

多くの方のご参加を

3年前に岡山に赴任してから、このRNNに関わらせていただいています。その活動、

無理なく、そして必要に応じて協力していく中で、本当にたくさんの方が生まれてきたような気がしています。

カトリック教会でも諸宗教の対話や協力を声高らかに謳ってきましたが、うまく行っていないのも現実です。



そういう中で岡山でのRNNの活動は、まだまだより善くしていく点がたくさんあるにしても、特筆すべき素晴らしい出来事であり、このような仲間に加えていただいて本当に感謝しています。

さらにより善い活動を目指して、多くの方々の参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願います。

RNN副委員長
岡山カトリック教会神父
服部 大介

RNNの可能性

RNNは、宗教団体を背景に持つ、諸宗教、諸宗派を超えた仲間です。祈りを要とし、地域、

この岡山で生まれたRNNが、日本国内だけでなく様々な国々の宗教者を縁として、情報交換、支援等のネットワークの軸となり、少しでも世間の役に立てる無限の可能性を秘めている仲間になろうとしていきます。



お互いを認め、お互いを理解し、無理なく助け合える連携を常日頃から情報交換しながら日々進む、NGOのネットワークです。

一緒に出来ることから実行しましょう。

日本には、昔から近所、親戚付き合いだけを重んじるのではなく、袖振り合うも多生の縁と

RNN副委員長
天宮宗本氏院副住職
永宗 幸信

動き出したRNN

国境・宗派を超えて

事務局長 黒住 宗道

RNN（人道援助宗教NGOネットワーク）は、天台宗・真言宗・キリスト教（カトリック・プロテスタント）・金光教・立正佼成会・創価学会・天理教・最上稲荷教・黒住教らの

の参画による、超宗派でNGO活動を進める宗教協力体制で、平成8年11月に発足いたしました。以来、「国際貢献トピア岡山構想を推進する会（トピアの



第3回人道援助宗教NGO会議（98年11月17日 真備町まーびーふれあいセンター）

岡山県内4カ所でミュージカル公演

1000人が参加、テレビ放映も

男性とフィリピン女性との間に生まれた混血児（日比国際児）によるミュージカル公演を県内4カ所にて主催して、1000人以上の方々在日本国内ではあまり知られていない社会問題に対する理解を深めていただきました。

JFC（日比混血児）とその母親がフィリピン国内において差別や偏見の対象になっている現状は、日本人（特に男性）として、他人事々としては片付けられない問題のひとつです。

「DAWN フィリピン女性移住労働者支援の会」（本部：マニラ市）の依頼を受けて開催された今回のミュージカルは私たちが主催した岡山公演のほか、東京、広島、新潟でも催さ

「会」の主催による「NGOサミット」の主要会議としての「人道援助宗教NGO会議」を毎年開催して国内外の宗教NGOとの連携を深めるとともに、定例会議を毎月開催して、災害被災者救援のための募金活動（最近ではコソボ紛争、トルコ

とりわけ10月上旬に「JFCミュージカル」という、日本人

れ、各地で大きな反響を呼びました。この模様は12月5日にはNHK衛星第一放送で放映され、18日には総合テレビで放映される予定です。

「ジャバユキの子」といじめられながらも明るさを失わず懸命に生き、いつか父親との体面を夢見る主人公の女の子のけなげさに感動し、苦難に出会っても前向きに生きることの大切さを学んだすばらしい公演となりました。

岡山県下の青年宗教者の交流会も開催

また、10月2日の立正佼成会岡山教会での第1回公演では、「世界連邦岡山県宗教委員会」の皆様のご協力のもと公演終了



定例会議でミュージカル公演を報告（99年10月14日／立正佼成会岡山教会にて）

後、県内の青年宗教者の交流会が行われました。公演の観賞後、立正佼成会・天台宗・キリスト教（岡山カトリック教会）・最上稲荷教・金光教・黒住教の各宗派・教団から参加した69名の青年層が会場に残り、交流会がもたれました。

交流会では、参加者の自己紹介をビンゴゲーム形式で行い、自然に楽しくお互いを知り合うことができました。

JFCミュージカルの観賞という共有した時間をもった後だけに、初めて出会った人達も自然と会話がはずんでいたようでした。また、各団体の活動報告も行われ、まさに異宗間の交流が楽しく図られた有意義なひとときでした。



10月4日 岡山県邑久郡邑久町の今城小学校での公演

日本にいる父親に逢いたい…JFCがミュージカルを熱演
健気に生きる子供たちの姿に感動
 偏見、差別に苦しむJFCの現状も



10月5日 真庭郡落合町中央公民館での公演



10月2日 岡山市の立正佼成会岡山教会での公演



10月3日 岡山市の岡山カトリック教会での公演



10月4日の晩は余慶寺に宿泊



10月6日 倉敷市玉島南小学校で交流会



初めての銭湯も体験

JFCミュージカル岡山公演に際しましては各界、各方面から多大なるご協力、ご支援を賜り、御礼申し上げます。

委員長 西村美智雄

JFCミュージカル公演がNHKで全国放送されます。
 「JFC (日比混血児) ミュージカル公演」の様子が今月18日、NHK総合テレビで全国放送されます。なお、既に5日には衛星第一放送で放映されました。番組名は「ふるさと発ドキュメント『お父さんに逢いたい―日比混血児・ミュージカルの旅―』で、時間は午後6時10分から38分までの予定です。

公演期間中に父親との対面も実現
 なお、この日出演したJFCの一人が公演直前にこの会場で初めて父親と電話連絡がついて、急速翌朝一番の新幹線で上京して念願の「お父さんとの初対面」を果たすことができました。
 神仏の尊き御働きを信じる私たちにとって、決して偶然とは思えない感激的な出来事でした。
 (トピアの会副会長)

RNNの発足から今日までのあゆみ

4年間の活動報告



- ▼1996年
- 2月「中国・雲南省大震災」緊急救援《AMDA(アジア医師連絡協議会)の要請を受けて協力。宗教関係からは7団体。支援物資総量17,305kg》
 - 2月「トピアの会・人道援助宗教委員会」発足《構成委員11団体から22名》
 - 10月「タイ・メコン川大洪水」被災者救援募金《乳幼児用粉ミルク缶500パック分の資金を募金。AMDAに委託》
 - 11月「第1回人道援助宗教NGO会議」開催《「96おかも国際貢献NGOサミット」の主要会議として》《RNN発足、参加案内チラシ作成、会議レポート(会議記録)第1号作成(97年6月発行)》
 - 1997年
 - 7月「NGOカレッジ」(於東広島市)参加・協力《共催広島県・AMDA・広島国際センター(7/5)11開催》にRNNより、参加者1名・講師1名。記念出版「はばたけ! NGO・NPO」(中国新聞社発行)の販売促進(98年5月)》
 - 7月「トピアの会・スタディツアー」(訪問先スリランカ)に参加《現地RNNメンバーの主催する施設を視察。RNNより2団体に参加》
 - 8月「比叡山宗教サミット10周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」(於京都市)にて提言《「宗教協力と世界平和」部会で、「宗教対話の歴史と未来」と題して》
 - 10月「北朝鮮への緊急救援《SVA(曹洞宗国際ボランティア会)当時》の要請を受けて、金光教平和活動センターが担当窓口となり対応。全国20カ所集積地に寄せられた計78tの物資の内、13t強が岡山(主に金光教)。義援金60万円。11月までに3回に分けて、現地(ピョンサン郡、ウォンサン郡等)に届けられる(担当者現地調査も実施され、12月に報告会が開かれた)》
 - 10月「第2回人道援助宗教NGO会議」(「97おかも国際貢献NGOサミット」の分科会として)開催《スリランカの農村開発運動「サルボダヤ・シラマダーナ運動」の指導者ヴィンヤ・アリアラトナ氏による活動報告、および「宗教NGO」について自由討論等。会議レポート(会議記録)第2号作成(98年7月発行)》
 - 10月「万国宗教会議」(於米・シカゴ)にて提言《「万国宗教会議百年記念大会」(1993・シカゴ)推進のための次回会議(1999年・南アフリカ)の草案起草委員会》
 - 11月「あいりん地区(金ヶ崎・大阪市西成区)の衣料品救援《岡山カトリック教会が担当窓口》
 - 1998年
 - 1月「第1回RNNスタディツアー」(訪問先フィリピン)を実施《1/26〜30実施。4団体より8名参加。オリジナルTシャツ作成・販売促進、報告書作成》
 - 7月「第1回RNNボランティア講座開催」(公開講演会)開催《講師「ソル・バルベロ」(第1回RNNスタディツアーで訪問した、フィリピンのストリートチルドレンの保護と教育に携わり「カンランガン・サ・エルマ」施設長。併せて宗教NGOの役割についてパネル・ディスカッション)》
 - 7月「パプアニューギニア津波」被災者救援募金《義援金159,000円をAMDAに委託》



1998年1月に実施された第1回スタディツアー

- 10月「JFC(日比国際児)ミュージカル」開催《日本人の父親とフィリピン人の母親との間に生まれたJFCを支援するNGO「DAWN」フィリピン女性移住労働者支援の会》(本部「マニラ」)「第1回RNNスタディツアー」にて訪問。主催の支援ミュージカル。義援金31万円を寄付》
- 11月「第3回人道援助宗教NGO会議」(「98おかも国際貢献NGOサミット」の分科会として)開催《RNNの活動報告、課題と構想を協議。会議レポート(会議記録)第3号作成(98年11月発行)》《会議記録ビデオを作成・販売》
- 11月「レーナ・マリアコンサート」共催《「おかも国際貢献NGOサミット」5周年記念事業としてライブ・ビデオを作成・販売(1999年)》
- 2月「コロンビア大地震」被災者救援募金《義援金290,800円をAMDAに委託》
- 3月「アフガニスタン震災」被災者救援募金《義援金60,000円をAMDAに委託》
- 4月「コソボ難民」救援募金《義援金237,728円をAMDAに委託》
- 4月「第2回RNNボランティア講座開催」(公開講演会)開催《講師「シロガマ・ヴィマラ師(マヒンダ社会福祉センター理事長。第1回、第3回RNN会議に出席)》
- 9月「トルコ西部地震」被災者救援募金《義援金1,462,013円をAMDAに委託》
- 10月「JFCミュージカル99」開催《昨年に続いて共催。岡山県内4カ所で開催。義援金(現在集計中)寄付》
- 10月「世界連邦岡山宗教者大会」で活動報告
- 11月「台湾大地震」被災者救援募金《義援金3,177,178円をAMDAに委託》
- 12月「万国宗教会議」(於・南アフリカ・ケープタウン)にて提言《「神道の基本視座」と題して》
- 12月「第4回人道援助宗教NGO会議」(「99おかも国際貢献NGOサミット」の分科会として)開催《RNNの活動報告、「万国宗教会議」報告》
- 現在RNNボランティア講座の定期開催を計画中ホームページ開設(<http://www.rnn-center.org>)準備中/RNN広報紙「そよかぜ」の定期発行/定例会議(毎月1回)開催(99年11月時点で45回開催)《緊急救援等への迅速対応のため、郵便振替口座を開設》
- 加入者名「RNN」
- 口座番号「013110・9・639333」
- 通信欄《送金目的を明記してください》

シロガマ・ヴィマラ比丘に第29回毎日社会福祉顕彰



日本の基金で孤児院を設立
シロガマ・ヴィマラ比丘は、1972年に来日。大蔵省に働きかけ、社会福祉活動に熱心な奈良・元興寺で修行、護国寺で研究を積み、岡山に77年当時、彼は孤児院があれなかった。日本から贈られた資金を基に設立した孤児院は、今や職業訓練施設も含む総合福祉センターに。職員育成のため日本に送り出した研修生も10人を超え、日本で古きを集める運動も展開。福祉による国際交流の架け橋となっている。

(毎日新聞平成11年9月15日)

私たちRNN発足時からのメンバーのシロガマ・ヴィマラ比丘(スリランカ・マヒンダ福祉センター理事長)がこのほど毎日新聞社会福祉顕彰を受賞されました。毎日新聞に掲載されました記事を紹介させていただきます。

第2回RNNボランティア講座



そよかぜに吹かれて
RNN初代委員長 宮本 光研
国際貢献トピアの会が発足し、テーマ曲「友よ、人よ、心よ」が西村直記さんによって作曲、演奏された。

その頃、聴こえないのはそよかぜが吹いているせいですか
というフレーズが念頭にあつた。
紛争や災害にすぐ立ち上がる。動けないのはそよ吹く風が早く、心奪われているせい。
ならば要注意、邪魔だ。ネーミング「そよかぜ」(小与加世)を提し、当会の発展を祈るのは吹く風にも感性、最大限、心通わせていきたい、と願うからである。
(真言宗御室派長泉寺住職)

へんしゅうこうぎ

この「そよかぜ」創刊記念号は、12月12日開催の「第4回人道援助宗教NGO会議」(99おかも国際貢献NGOサミット)に向けて編集しました。これまでの4年間のRNNの歩みをみなさんに知っていただくために、挨拶や資料的なものばかりとなつていますが、今後はみなさんから寄せられたご意見や話題も掲載できるように「掲示板」のコーナーなどを設けるなど工夫をまいりたいと考えています。みなさまからの情報をお待ちいたしております。RNNの賛同者も募集中です。連絡はRNN事務局「FAX086(284)7173」までお願いします。(編集委員一同)

